

「学校教育目標」と「令和4年度重点目標」の達成に向けて

学校教育目標

未来を見据え、限りない可能性に駆ける生徒の育成

めざす具体的生徒像

- 生きて働く知識・技能を確実に身につける生徒（知識・技能）
- 失敗を恐れず果敢に挑むチャレンジ精神を持つ生徒（思考力・判断力・表現力）
- 他者と目標を共有し、協働して解決できる生徒（学びに向かう力・人間性等）

（これまでの知・徳・体の具体的目標を、学習指導要領改訂に伴い、「知識・技能」「思考力・表現力・判断力」「学びに向かう力・人間性」の3観点で令和3年度に設定）

【目指す学校像】

- 心ときめく学校（感動）
- 頼られる学校（信頼）
- 啓発し合う学校（創意）

【目指す教師像】

- 指導力向上に向けて切磋琢磨し、研究と研修に励む教師（教育的力量を身につける）
- 様々な人とコミュニケーションを図り協働できる教師（総合的な人間力を高める）
- 明るく健康的で、生徒・保護者等から信頼される教師（教育的な熱情・真剣さ）

★ 豊かな人間性 ★

- 自分を律しつつ、やさしさや思いやりの心を持ち、多様な他者とよりよい人間関係を築く。
- 教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実
 - 自主的・実践的な特別活動の推進
 - 自己有用感を育てる教育課程の編成

★ 健康・体力 ★

- 自他の安全に配慮し、心身の健康に対し、主体的に関わることができる。
- 教育活動全体を通じて行う安全教育の充実
 - 全国体力運動能力調査を活かす授業実践
 - 家庭や地域と連携した健康教育の推進

重点目標

Try, Challenge and Change

★ 資質能力の育成～確かな学力 ★

何ができるようになるか【学校教育の基本】

- ・ 学んだことを社会生活で活かすことができる
- ・ 全ての学習の基盤となる汎用的な能力の定着
- ・ 生徒指導の機能を活かし、自己有用感を伸張り、共に納得解を見つけ出そうとする姿勢の育成

何が身についたか【学習評価による学習指導の改善】

- ・ 生徒の学習改善、教師の授業改善をねらいとして、「到達度テスト」を実施
- ・ PDCAサイクルを柱とした、教育課程や学習指導等の評価と改善

子供の発達をどのように支援するか【配慮を必要とする生徒への支援】

- ・ 生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援を、「全員担任制」の取組や、情報や指導方針の共通理解のもと、全教職員、保護者、他機関と密接に連携した協働体制による取組の推進
- ・ 一人一人に個別最適化され、創造性を育む ICT 環境の実現
- ・ 保護者との信頼関係を築く、月1回のケース会議の開催

何を学ぶか【教育課程の編成】

- ・ 生徒一人一人に確かな学力を確実に育むため「社会に開かれた教育課程」を作成
- ・ 活動の中で、様々な Try, Challenge を仕組む

どのように学ぶか【教育課程の実際】

- ・ 授業のユニバーサルデザイン化とともに、「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の工夫改善

実施するために何が必要か【指導体制の充実、家庭・地域との連携、協働】

- ・ 校内や校外の研修の充実による教師力の向上
- ・ 小中9年間を見通した生徒理解と教育活動の充実

○ 安心・安全を守る信頼される学校作り

- ・ いじめ防止基本方針の策定と完全実施
- ・ 避難の実際や避難後を意識した活動の実践
- ・ 保護者や関係機関、地域と連携した安全対策

○ 開かれた学校作り

- ・ 授業公開日や参観日、学校行事等や ICT を活用した動画配信等を通して、地域や家庭との連携を強化
- ・ 学校運営協議会を通して地域との連携を強化